指示があるまで開いてはいけません

令和８年度
群馬県毒物劇物取扱者試験問題
（　特定品目　）

試験時間：午後１時から午後２時３０分まで
試験科目及び出題数
「筆記試験」
　Ⅰ 法規（１０問）
　Ⅱ 基礎化学（１０問）
　Ⅲ 性質及び貯蔵その他取扱方法（１０問）
「実地試験」
　Ⅳ 識別及び取扱方法（１０問）

★★★受験の際の注意事項★★★

１　試験問題とは別に解答用紙（マークシート）を１枚用意してありますので、問題の解答は、必ず解答用紙に記入してください。
２　解答用紙への記入は、鉛筆またはシャープペンシルで該当となる番号をぬりつぶし、誤ったときは、消しゴムであとが残らないようよく消してください。
３　解答用紙に「受験番号」と「区分」及び「氏名」を必ず記入し、「受験番号」及び「区分」の該当する数字をぬりつぶしてください。
４　解答は、「筆記試験」については解答欄１～４から、「実地試験」については解答欄１～７及び１～３から、解答となる１つの番号を選び、ぬりつぶしてください。なお、２か所以上ぬりつぶした場合は得点になりません。
５　試験終了後、解答用紙は提出し、試験問題についてはお持ち帰りください。

※受験番号と区分の記入例
（受験番号が「１２３４」、試験区分が「一般」の場合）

解答用紙（受験番号及び区分欄）

受験番号				区分	
1	2	3	4		
●	①	①	①	●	一般
②	●	②	②	②	農業用品目
③	③	●	③	③	特定品目
④	④	④	●		

※解答の記入例（筆記試験の場合）
（解答「１」の場合）

試験問題
問１　次の市のうち、群馬県の県庁所在地はどれか。
　１　前橋市
　２　高崎市
　３　伊勢崎市
　４　太田市

解答用紙（解答欄）

問題番号		解答欄
	問１	● ② ③ ④
	問２	① ② ③ ④

Ⅰ　法規（一般、農業用品目、特定品目共通）

問１　次のうち、毒物及び劇物取締法第２条第３項の規定により、特定毒物に定められているものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　燐化アルミニウムとその分解促進剤とを含有する製剤
イ　シアン化水素
ウ　四アルキル鉛
エ　弗化水素を含有する製剤

１　（ア，ウ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（イ，エ）

問２　次の文は、毒物劇物営業者の設備基準について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　毒物を陳列する場所にはかぎをかける設備が必要だが、劇物を陳列する場所にはかぎをかける設備は不要である。
イ　毒物劇物製造業者が毒物の製造作業を行う場所は、毒物が地下にしみ込むおそれのない構造でなければならない。
ウ　劇物を貯蔵する場所が性質上かぎをかけることができないものであるときは、その周囲に、堅固なさくを設ければよい。
エ　劇物の貯蔵設備は、劇物とその他の物とを区分して貯蔵できる設備でなくてもよい。

	ア	イ	ウ	エ
１	誤	正	誤	誤
２	正	誤	正	誤
３	正	正	誤	正
４	誤	正	正	誤

問３　次の文は、毒物劇物取扱責任者について記述したものである。正しいものの組合せはどれか。

ア　都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格しても、20歳以上の者でなければ毒物劇物取扱責任者にはなれない。
イ　一般毒物劇物取扱者試験に合格した者は、一般販売業の店舗において毒物劇物取扱責任者となることができるが、農業用品目販売業や特定品目販売業の店舗においては毒物劇物取扱責任者となることができない。
ウ　厚生労働省令で定める学校で、応用化学に関する学課を修了した者は毒物劇物取扱責任者となることができる。
エ　毒物劇物販売業者が毒物劇物取扱責任者を置いたときは、30日以内に届け出ればよい。

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問４　次の文は、毒物及び劇物取締法第１４条第１項の記述である。（　　）にあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。
一　毒物又は劇物の（　ア　）
二　（　イ　）
三　譲受人の氏名、（　ウ　）及び住所（法人にあつては、その（　エ　）及び主たる事務所の所在地）

	ア	イ	ウ	エ
１	名称及び数量	毒物又は劇物の使用目的	職業	代表者氏名
２	成分及び含量	販売又は授与の年月日	年齢	名称
３	名称及び数量	販売又は授与の年月日	職業	名称
４	販売金額	毒物又は劇物の使用目的	年齢	代表者氏名

問５　次のうち、毒物及び劇物取締法第３条の４の規定により、引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物として政令で定められており、業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならないものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　メタノール
イ　亜塩素酸ナトリウムを 30％含有する製剤
ウ　ピクリン酸
エ　塩素酸ナトリウムを 30％含有する製剤

１　（ア，イ）
２　（ア，エ）
３　（イ，ウ）
４　（ウ，エ）

問６　次の文は、毒物及び劇物取締法第４条に規定する営業の登録について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　毒物又は劇物の製造業の登録は、製造所ごとにその製造所の所在地の都道府県知事が行う。
イ　毒物又は劇物の輸入業の登録は、営業所ごとに厚生労働大臣が行う。
ウ　毒物又は劇物の販売業の登録は、店舗ごとにその店舗の所在地の都道府県知事（その店舗の所在地が、地域保健法第５条第１項の政令で定める市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長。）が行う。
エ　製造業、輸入業及び販売業の登録は、６年ごとに更新を受けなければ、その効力を失う。

	ア	イ	ウ	エ
１	誤	正	正	誤
２	正	正	誤	誤
３	誤	正	正	正
４	正	誤	正	誤

問７　次の文は、毒物又は劇物の表示について記述したものである。正しいものはどれか。

１　毒物については、「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「毒物」の文字を、劇物については、「医薬用外」の文字及び赤地に白色で「劇物」の文字を容器及び被包に表示しなければならない。
２　毒物については、「医薬用外」の文字及び黒地に白色で「毒物」の文字を、劇物については、「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「劇物」の文字を容器及び被包に表示しなければならない。
３　毒物劇物営業者は、その容器及び被包に劇物の名称及びその成分を表示していれば、その含量を省略して劇物を販売することができる。
４　特定毒物研究者は、毒物又は劇物を貯蔵する場所に、「医薬用外」の文字及び毒物については「毒物」、劇物については「劇物」の文字を表示しなければならない。

問８　次のうち、あせにくい黒色で着色したものでなければ、毒物劇物営業者が農業用として販売できないものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　硫酸タリウムを含有する製剤たる劇物
イ　塩素酸塩類を含有する製剤たる劇物
ウ　燐（りん）化亜鉛を含有する製剤たる劇物
エ　沃（よう）化メチルを含有する製剤たる劇物

１　（ア，イ）
２　（ア，ウ）
３　（イ，エ）
４　（ウ，エ）

問９　次の文は、毒物劇物営業者が毒物及び劇物取締法上、遵守しなければならない事項について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　引火性、発火性又は爆発性のある毒物又は劇物であって政令で定めるものを交付する際は、厚生労働省令の定めるところにより、その交付を受ける者の職業及び年齢を確認しなければならない。
イ　毒物又は劇物を廃棄する場合は、政令で定める技術上の基準に従わなければ廃棄してはならない。
ウ　毒物又は劇物が盗難にあった場合だけでなく、紛失した場合であっても、直ちに、その旨を警察署に届け出なければならない。

	ア	イ	ウ
1	正	正	誤
2	正	正	正
3	誤	正	正
4	正	誤	正

問 10　次のうち、毒物及び劇物取締法第１０条に規定する毒物劇物販売業者が変更の届出をしなければならないものとして、正しいものの組合せはどれか。

ア　毒物劇物販売業者が法人の場合、その名称を変更したとき
イ　毒物劇物販売業者が法人の場合、その主たる事務所の所在地を変更したとき
ウ　毒物劇物販売業者が法人の場合、その役員を変更したとき
エ　当該店舗を他の場所へ移転したとき

1　（ア，イ）
2　（ア，エ）
3　（イ，ウ）
4　（ウ，エ）

Ⅱ　基礎化学（一般、農業用品目、特定品目共通）

問１　次のうち、「同一圧力、同一温度、同一体積のすべての種類の気体には同じ数の分子が含まれる」という法則の名称として、正しいものはどれか。

1　ボイル・シャルルの法則
2　ルシャトリエの法則
3　アボガドロの法則
4　ヘンリーの法則

問２　次のうち、芳香族化合物はどれか。

1　フェノール
2　エチレングリコール
3　シクロヘキサン
4　イソプロパノール

問３　次の文は、酸化還元反応について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　還元剤は、反応相手の物質より還元されやすい物質である。
イ　物質が水素を失ったとき、その物質は酸化されたという。
ウ　原子が電子を失うことを、還元されたという。
エ　物質が酸素と結合したとき、その物質は酸化されたという。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	誤	誤
2	誤	誤	正	正
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正

問４　塩化ナトリウム 46.8ｇに水を加えて 250mL の水溶液をつくった場合、その水溶液中の塩化ナトリウムのモル濃度は何 mol/L となるか。ただし、原子量は、Na＝23、Cl＝35.5 とする。

1　0.8 mol/L
2　1.6 mol/L
3　2.4 mol/L
4　3.2 mol/L

問５　次の元素のうち、イオン化傾向が最も小さいものはどれか。

1　鉄（Fe）
2　スズ（Sn）
3　ニッケル（Ni）
4　マグネシウム（Mg）

問６　次の文は、酸と塩基について記述したものである。（　　）にあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

酸とは、水溶液中で電離して、（　ア　）イオンを生じる物質である。
塩基とは、水溶液中で電離して、（　イ　）イオンを生じる物質である。
酸性の水溶液は、（　ウ　）色リトマス紙を（　エ　）色に変え、アルカリ性の水溶液は、（　エ　）色リトマス紙を（　ウ　）色に変える。

	ア	イ	ウ	エ
1	水素	水酸化物	青	赤
2	水素	水酸化物	赤	青
3	水酸化物	水素	青	赤
4	水酸化物	水素	赤	青

問７　次のうち、カルボン酸とアルコールが脱水縮合して生成する化合物の総称として、正しいものはどれか。

１　ケトン
２　ニトリル
３　アルデヒド
４　エステル

問８　次の（　　）にあてはまる数字のうち、正しいものはどれか。

5 ppm は、（　　）％のことである。

１　5
２　0.05
３　0.0005
４　0.000005

問９　次のうち、アミノ酸の検出に用いられる反応の名称として、正しいものはどれか。

１　ニンヒドリン反応
２　銀鏡反応
３　ルミノール反応
４　ヨウ素デンプン反応

問10　次のうち、ピクリン酸に含まれる官能基として、正しいものはどれか。

1　スルホ基
2　ニトロ基
3　ホルミル基（アルデヒド基）
4　アミノ基

Ⅲ　性質及び貯蔵その他取扱方法（特定品目）

※注意事項

問題文中の物質の性状等に関する記述について、特に温度等の条件に関する記載がない場合は、常温常圧下における性状等について記述しているものとする。

問１　次の文は、水酸化ナトリウムの性質について記述したものである。（　　）にあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

水酸化ナトリウムは、水と（　ア　）を吸収する性質が強く、空気中に放置すると、（　イ　）する。また、水に溶けやすく、水溶液は（　ウ　）を示す。

	ア	イ	ウ
1	二酸化炭素	風解	酸性
2	酸素	潮解	酸性
3	二酸化炭素	潮解	アルカリ性
4	酸素	風解	アルカリ性

問２　次のうち、蓚(しゅう)酸に関する記述として、正しいものはどれか。

1　一般に流通しているものは二水和物で緑色の結晶である。
2　ベンゼンやクロロホルムによく溶ける。
3　水溶液をアンモニア水で弱アルカリ性にして塩化カルシウムを加えると、白色の沈殿を生じる。
4　結晶はおよそ 180℃で分解し、225℃で熱と窒素を発生しながら分解する。

問３　次の文は、メタノールの毒性について記述したものである。（　　）にあてはまる語句の組合せのうち、正しいものはどれか。

致死量に近づくと（　ア　）になり、（　イ　）が侵され、（　ウ　）ことがある。

中毒の原因は、排出が緩慢で、蓄積作用によるとともに、酸中毒症、すなわち体内で（　エ　）が発生することによる。

	ア	イ	ウ	エ
1	脱水症状	内耳神経	聴覚障害になる	酢酸
2	麻酔状態	視神経	失明する	ギ酸
3	麻酔状態	内耳神経	聴覚障害になる	ギ酸
4	脱水症状	視神経	失明する	酢酸

問４　次の物質のうち、10％を含有する製剤が劇物に該当するものはどれか。

1　塩化水素
2　蓚（しゅう）酸
3　水酸化カリウム
4　キシレン

問５　次の文は、ホルムアルデヒドの性質等について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　ホルムアルデヒドの化学式は、ＨＣＨＯである。
イ　ホルムアルデヒド１％を含有する製剤は、劇物に該当しない。
ウ　ホルムアルデヒドの水溶液は、無色あるいはほとんど無色透明の液体で、刺激性の臭気をもつ。
エ　ホルムアルデヒドの水溶液は、空気中の酸素によって一部酸化され、酢酸を生じる。

	ア	イ	ウ	エ
1	誤	正	誤	誤
2	正	正	正	誤
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	正

問６　次の文は、物質とその廃棄方法について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　塩化水素は、水を加えて希薄な水溶液とし、酸（希塩酸、希硫酸等）で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。
イ　重クロム酸カリウムは、希硫酸に溶かし、還元剤（硫酸第一鉄等）の水溶液を過剰に用いて還元したのち、消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、沈殿ろ過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。
ウ　水酸化カリウムは、徐々に石灰乳などの撹拌（かくはん）溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する。

	ア	イ	ウ
1	誤	正	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	正	誤	誤

問７　次の文は、ある物質の毒性について記述したものである。該当する物質はどれか。

経口投与によって、口腔・胸腹部疼痛、嘔吐、咳嗽、虚脱を発する。また、腐食作用によって直接細胞を損傷し、気道刺激症状、肺浮腫、肺炎を招く。

１　アンモニア水
２　トルエン
３　メチルエチルケトン
４　クロロホルム

問８　次の物質とその主な用途の組合せのうち、正しいものの組合せはどれか。

	物質		主な用途
ア	一酸化鉛	―	ゴムの加硫促進剤、ガラスの原料
イ	クロム酸ストロンチウム	―	紙・パルプの漂白剤、消毒剤
ウ	重クロム酸カリウム	―	工業用の酸化剤、媒染剤、製革用
エ	塩素	―	さび止め顔料

１　（ア，イ）
２　（ア，ウ）
３　（イ，エ）
４　（ウ，エ）

問９　次の文は、物質の漏えい時の措置について記述したものである。記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

ア　四塩化炭素が多量に漏えいした場合､漏えいした液は土砂等でその流れを止め、これに吸着させるか、または安全な場所に導いて、遠くから徐々に注水してある程度希釈した後、水酸化カルシウム、炭酸ナトリウム等で中和し、多量の水で洗い流す。

イ　硫酸が多量に漏えいした場合、漏えいした液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、空容器にできるだけ回収し、そのあとを中性洗剤等の分散剤を使用して多量の水で洗い流す。

ウ　メチルエチルケトンが多量に漏えいした場合、漏えいした液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。

	ア	イ	ウ
１	正	誤	誤
２	正	正	正
３	誤	誤	正
４	誤	正	誤

問 10　次の文は、ある物質の貯蔵方法について記述したものである。該当する物質はどれか。

低温では混濁するので､常温で保存する｡一般にメタノール等が添加してある。

１　過酸化水素
２　四塩化炭素
３　水酸化ナトリウム
４　ホルマリン

Ⅳ　識別及び取扱方法（特定品目）

次の物質の常温常圧下における主な性状について、最も適当なものを下欄から一つ選びなさい。

問１　塩化水素

問２　硅弗化ナトリウム

問３　クロム酸ストロンチウム

問４　酢酸エチル

問５　重クロム酸アンモニウム

問６　トルエン

問７　硫酸

下欄

番号	性状
1	無色透明の液体で、果実様のにおいを有する。
2	淡黄色の粉末である。
3	橙赤色の結晶である。
4	無色透明の液体で、ベンゼン様のにおいを有する。
5	無色の刺激臭を有する気体で、湿った空気中で激しく発煙する。
6	無色透明の油状の液体である。粗製のものは、かすかに褐色を帯びていることがある。
7	白色の結晶である。

次の物質の主な鑑別方法について、最も適当なものを下欄から一つ選びなさい。

問８　硫酸

問９　ホルマリン

問10　塩酸

下欄

番号	鑑別方法
1	希釈した水溶液に塩化バリウムを加えると、白色の沈殿を生じる。
2	アンモニア水を加えて強アルカリ性とし、水浴上で蒸発すると、水に溶解しやすい白色、結晶性の物質を残す。
3	硝酸銀溶液を加えると、白色の沈殿を生じる。